赤ひげ
クリニック
Akahige

短時間通所リハビリテーションについて

赤ひげクリニックでは、本年４月より２階リハビリテーション室で短時間通所リハビリテーションを開始いたしました。
提供時間は、１０時３０分～、１３時３０分～　の１日２回運営します。提供時間は１時間～２時間となります。
定休日は、土・日・祝日と年末年始になります。
当通所リハビリテーションの特徴は、午前の提供に関して、昼食の提供を行います。（昼食代はいただきます。）
利用者様からは美味しいと評判を頂いております。もちろん特徴は食事のみではなく、楽しいひと時を過ごしていただきながら
体操や個別にリハビリテーションプログラムを組み立て提供させていただきます。

赤ひげ短時間通所リハビリテーションのプログラムを紹介させていただきます。
＜午前＞
送迎で来所→血圧・体温など測定→集団体操と個別リハビリテーションプログラムに分かれていただきます
→昼食→ご自宅へ送迎させていただきます。
＜午後＞
送迎で来所→血圧・体温など測定→集団体操と個別リハビリテーションプログラムに分かれていただきます
→ご自宅へ送迎させていただきます。

赤ひげ通所リハビリテーションのモットーは
「赤ひげに来られている時間が利用者様にとって
楽しみになる」を掲げています。
この記事を読まれて、赤ひげ短時間通所
リハビリテーションに行ってみたいと思われましたら
赤ひげクリニック（0736-66-9003 担当：理学療法士 石本）
または、ご担当のケアマネージャーにご相談下さい。





Access
アクセス



公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで 5 分（徒歩約 20 分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人　三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市 貴志川町丸栖 1423-3
TEL　0736-64-0061 ／ FAX 0736-64-0063
〔HP〕http://www.mikurumakai.or.jp

Notice
お知らせ

法人 20 周年記念式典



当法人は、おかげさまで 20 周年を迎えることができました。
地域の皆様への感謝の気持ちをこめて 4 月 13 日、貴志川生涯学習センター (かがやきホール) にて「法人 20 周年記念式典」を行いました。

フェイスブック
Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。
お気軽にフォロー＆いいね よろしくお願いします。

facebook facebook facebook facebook
貴志川リハビリテーション病院
赤ひげクリニック
たま整形外科
Acti-va

2019 年 4 月発行 / 広報誌みくるま通信　vol.20　春号

社会医療法人 三車会　広報誌
spring 春号
2019
Vol.20

みくるま通信

Lineup
掲載内容

- 総合診療科のご案内
- 介護職員　初任者研修
- 新入職員　紹介
- 法人職員の「人となり」
- デイケア　赤ひげ

貴志川リハビリテーション病院
Hospital

総合診療科のご案内

外来診療日
毎週月曜日　午後

患者様の多彩な症状に対応するため３月から「総合診療科」の診療を開始しました。
普通の診療科は胃腸科や心臓血管外科などのように、臓器によって細分化されています。
これに対して「総合診療科」は、臓器別に診るのではなく、人の体全体から診療することを基本にしています。
すなわち単に病気を診るのではなく、患った「人を診る」という姿勢を大切にしています。
例えば一人の患者様が整形外科の病気を患っており、A という内服治療が行われていたとしましょう。
しかしこの人が同時に消化器や神経、腎臓などいくつかの病気も患っており、多施設で複数の内服治療を受けていた場合
A 薬が必ずしもふさわしいとは限りません。このような方には副作用のない、より一層安心できる薬が必要な場合があります。
こういう状況を見分けるのが「総合診療科」の大切な役割の一つと考えております。
「不明熱」「長く続く咳や痰」「体重減少・体重増加」「倦怠感」「食欲不振」など①原因不明の症状でご心配な方
②受診する診療科が分からない方や③健康診断の結果のご質問など内科一般の診療はもちろん
④外科系疾患に関する内容や⑤禁煙などに関するご質問など、幅広く診療いたしますので、まずは当科にご相談ください。
なお初診時のご予約は不要です。受付で申し出てください。
ご不明な点は「患者サポートセンター」にご相談いただければ係員が対応しますのでご遠慮なくご活用下さい。

外来担当医師紹介



◆ 西村　和彦 医師　（1981 年 順天堂大学卒業）

総合診療科、外科
患者サポートセンター長
主な取得資格：　日本外科学会指導医、日本病院総合診療医学会認定医
日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化管学会指導医
日本乳癌学会認定医、日本消化器がん検診総合認定医
抗菌化学療法認定医、日本禁煙学会指導医　など

ご挨拶

2018 年 11 月から勤務しています西村と申します。紙面を借りてご挨拶させていただきます。出身は現紀の川市粉河で粉河高校卒業後、東京の順天堂大学およびその関連施設で「名医かつ良医たれ」という順天堂の格言のもと、消化器・一般外科を中心に外科・内科の総合診療や感染症診療、リハビリテーション医学など幅広く研鑽してまいりました。粉河を離れて 45 年目に地元に戻り、縁あって貴志川リハビリテーション病院で勤務させていただいております。入職後患者様を診療するにあたり、お一人で複数の病気を患っておられる方が多く、幅広く対応する診療科の必要性を痛感し、「総合診療科」の外来を始めるに至りました。紀の川市、岩出市、紀美野町などを中心とした方々の**地域医療**に少しでも貢献できるよう努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

患者サポートセンターのご案内

外来患者様や入院患者様、ご家族の皆様の以下のような様々なご相談にお答えいたします。

- 医療保険をはじめ、利用できる制度について
- 介護保険、サービスについて
- 施設や病院についての情報や相談について
- 病気や療養上の相談について　など

患者サポートセンター長の西村医師を中心に、保健師・看護師・社会福祉士・ケアマネージャー・事務職等
多職種が密に連携を取りながらサポートいたします。お気軽にご相談ください。

患者サポートセンター　TEL 0736-64-0061　【受付時間】月～金曜日 8：30 ～ 17：30

お知らせ
Notice

社会医療法人三車会

介護職員 初任者研修 定員 10 名

住み慣れた地域で、気心の知れた仲間と、楽しく、安心していつまでも暮らしていきたい。
そんな地域の方々の想いを応援したい方、人に喜ばれる仕事をしたい方のための資格です。
私たち住民の力で「生涯ここで暮らしたい」と思える地域をつくっていきましょう。

通学課程

受講生募集期間　2019 年４月１日（月）～　2019 年５月 31 日（金）

開講期間　2019 年７月１日（月）～　2019 年９月 24 日（火）（平日昼間コース）

開講場所　貴志川リハビリテーション病院　地下会議室
和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3

受講料金　10,800 円（税込）テキスト代含む

募集要項・申込書・学則を、送付します。（当院 HP からも印刷できます）
電話・FAX・ハガキ・来院のいずれかの方法にてご連絡をお願いします。
※FAX・ハガキの場合は、お名前、住所、電話番号を記載してください。

貴志リハの 本年度新入職員紹介

本年度も多数の新入職員が入職しました。
紀の川市の中核病院としてのリハビリテーションを充実させていけるようスタッフ一同、日々精進してまいります！

皆様へ多くの笑顔を提供できるよう頑張ります！



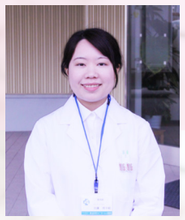
事務部３名



リハビリテーション部８名



看護部８名



薬剤部１名

【みくるま通信特別企画】

法人職員の

「人となり」

患者様・利用者様が普段接している職員は、どんな想いやこだわりを持っているのか、どのような人間性なのか、知っていただきたく企画しました。

貴志川リハビリテーション病院
看護部　回復期リハビリテーション病棟
看護師　衣風嬌（イ　フウキョウ）

出身　中国山東省威海市（いかいし）





私の出身地は、中国、山東省の威海市です。日本に来て今年の4月で6年目になります。最初は、午前中、看護学校に行って勉強して、昼からは病院でケアアシスタントとして働いていました。
平成29年4月に日本の看護師免許をとり、今は回復期リハビリテーション病棟で看護業務を行っています。

【看護師になりたいと思った理由、きっかけは？】

私の祖母は、医者です。田舎によくいる何でも診る事ができる医者でした。祖父は獣医でした。家で飼っている豚とか犬とかを面倒みていました。子どもの頃は、祖父母と一緒に暮らしていて、注射器がおもちゃでした。大根を注射器で刺して遊んでいました。（笑）　私は、中学校の頃、日本のアニメを見て、日本でいいな！　日本に住みたいな！と思いました。高校を卒業する時に最初は日本語の勉強をしたいと思いました。
ただ、両親からは日本語を勉強するだけでは中国人はいっぱいいて、私より日本語ができる人もたくさんいる、だから日本語だけではどんな仕事につけるか分からない、といわれました。
その時、両親が、看護師の仕事を、生活も安定するからと勧めてくれて、私も看護師がいいな！と思って決めました。
決めたからには、全力でやろうと思っています。
その時の看護師のイメージは薬配ったり、点滴打ったりするんだろうなって思ってました。
でも、実際勉強したら、色々とたくさん仕事がありました。（笑）
3年間、日本でいえば大学か専門学校のようなところで、看護師になるための勉強と日本語の勉強をしました。中国の看護師免許をとって、卒業後、更に半年間日本語を勉強しました。
その学校は日本の看護学校も紹介してくれました。行けるのは、東京か和歌山のどちらかでした。先生は、和歌山は海にも近くて地元の威海市に似ているからと勧めてくれました。私も田舎が良かったのでここに来ました。
でも、海には、そんなに近くなかったです。（笑）

【看護師として、患者さんに接する際、心掛けていることは？】

患者さんとは、お互い様、と思います。こちらが優しくしないと患者さんも優しく接してくれない。こちらがイライラしていると患者さんもイライラしています。ですから、頼まれたことは、きちんとやるし、優しく接するようにしています。

【職務上で大変だったことは？】

今でもそうですけど、中国から来たばかりの頃は、相手に伝えたくても伝える事が出来ないことが一番つらかったです。患者さんに何か説明したい時、言ったことをわかってくれないことがよくありました。来たばかりの頃は、自分がだめなんだとせめてました。今もつらかったことを思い出して涙が出てきそうになります。（涙）
私は、真面目な性格なので、やっぱり看護師の仕事は合わない、日本で仕事を無理だと何度も何度も思い悩む時がありました。
良かったのは、仕事の上司や、先輩がすごく優しく励ましてくれたことです。「衣さん！　日本人でも日本語がうまく話せない人がいっぱいいてるよ！」といって励ましてくれました。
私はこの職場で、本当に良かったと思っています。ずっと働きたいと思っています。（笑）

【家族に対する想いは？】

家族に会いたいとかは、そんなに思わないです。
ただ、家族のことは心配です。父の両親は、私が中国の大学生の時に亡くなりました。でも両親は、私に気を使って亡くなったことを教えてくれなかったです。私は教えてほしかったです。（涙）
私はいま日本にいてるから、もし両親になんかあったら教えてくれるのか、心配です。（涙）
あと、子どもは私だけなので、二人だけで淋しくないかな、と思っています。

【職務上で笑って話せるエピソードは？】

日本に来て最初の頃、患者さんの部屋に行ったとき、おばあちゃんが「ゴメヤデ」っていわれました。私は、意味が分からなくて、家に帰って辞書で調べました。でも辞書で調べても「ゴメヤデ」は出てこないんですよ。インターネットで調べたら、コメのことがいっぱい出てきました、米屋さんとか。（笑）
そのおばあちゃんは、よくその言葉をいわれるので、今さら本人に聞くのはよくないかなって思いました。それで学校の先生に聞きにいきました。先生は、その言葉は関西弁で「ごめんやで」といって、ごめんなさい、ありがとう、という意味で使うんだよ、と教えてくれました。私には、「ごめんやで」が「ごめやで」と聞こえていたんです。（笑）
私の中では、一番印象に残っている面白いことです。

衣風嬌さんは、こんな人



看護部　統括部長　大久保 まさ子

衣さんとの出会い

２０１４年異国の中国から研修生を受け入れる事業が始まった。その時の思いは、遠い中国から見知らぬ日本に親元を離れ、心配と不安で一杯だろうと母親目線であった。出逢えば、自己の志が明白なしっかりした看護師であり、期待・楽しみ・心配が入り交じり迎えた事を回想する。衣さんは期待した通り、勤勉という言葉がぴったりの女性でした。日本人でも難解な日本語能力試験に臨み合格。更に看護師国家試験にも合格。見事日本の看護師資格を取得した。私にとっては、誇れる部下である。母国に帰っても、ケアの本質には国境はなく、当院の看護に自己の看護観をプラスし、進化して頂きたいと同時に御縁があった事に感謝致します。

看護部　ケアアシスタント　濱砂 仁美

衣さんとは、２０１４年から1年ほどケアアシスタントとして同じ立場でお仕事をさせて頂きました。

正直初めは、国籍が違うということでコミュニケーションや考え方の違いがあるのではないかと不安がありました。

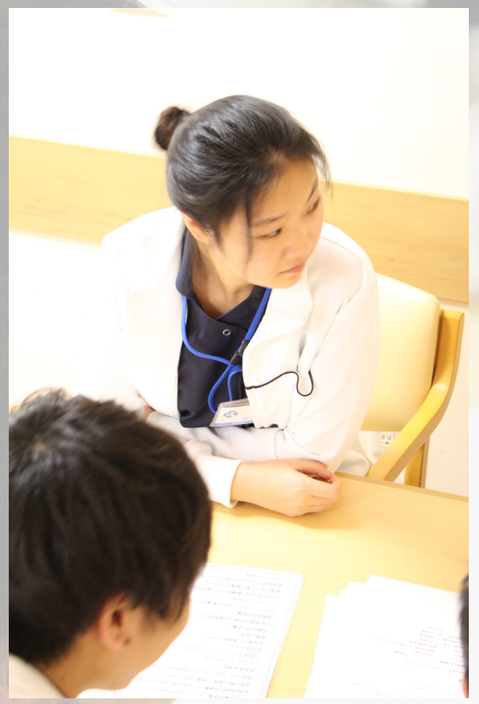
しかし一緒に仕事をしていくうちに衣さんの行動を見ていくなかで、とても真面目で一生懸命仕事に取り組んでいる姿を見ていると私も負けてられないなと、勇気づけられた事もありました。

日本語能力試験、看護師国家試験、運転免許証の取得と日本人でも難しい試験をクリアし努力したと思います。

そんな衣さんが時々、患者さんと会話していて和歌山弁で話しているところを見ると、とても可愛らしく思うこともあります。（年は親子ほど違うもので…）

これからも日本で看護師として活躍してほしいと思っています。





看護部　看護師　周 研

私が入職する前、衣さんは当院で実習生として働いています。衣さんは私より病院のことを詳しく分かります。実習の時からよく頑張っていると思います。同じ中国人として、この看護師国家試験合格するための努力と辛さよく分かります。中国にて看護師は大体看護技術的な仕事です。日本の看護師は技術的なこと以外日常生活の介助する事も仕事です。衣さんは1年目の看護師としていろいろなことが分からないので、私達はよく相談して、先輩達の意見を聞きながら勉強しています。衣さんは仕事に対しては真面目な人です。普段の時は料理が好きです。時々美味しい手料理をごちそうしています。熱心でいい店を紹介し、車で一緒に行くことも多いです。

看護部　看護師　原 千智

衣看護師とは同期で、入社した際に中国国籍の看護師がいる！と驚いた事が記憶に残っています。同期内でのあだ名はそのままですが、衣ちゃん（いーちゃん）です。（笑）

現在一緒の病棟で働いていますが、衣看護師はとても真面目で、笑顔が素敵な看護師だと思います。年齢も近く、仕事面だけでなく、プライベート面でも良き相談相手です。日本語も上手に話されますが、極まれに日本語を聞いてくる事があり、少し片言なところが可愛いです。初めは標準語の日本語を話していたそうですが、今ではすっかり関西弁訛りです。（笑）

話した事のない方は、是非この機会に衣看護師と話してみて下さい！元気をもらえると思います。